

日本曹達株式会社 本社オフィス移転について

日本曹達株式会社（日本曹達）は2023年11月27日に本社オフィスを、これまで60年以上にわたって業務を行ってきた新大手町ビル（東京都千代田区大手町）から、東京駅間近のJ Pタワー（東京都千代田区丸の内）へ移転し、業務を開始しました。

当社はこれまで在宅勤務制度の導入やペーパーレス化・フリーアドレス化など、ワークライフバランスと業務の効率化の両立に取り組み、従業員の自律的な成長を促進するとともに、働きやすい職場環境づくりを進めてきました。コロナ禍が収束しても在宅勤務やウェブ会議が定着していたことから、働き方改革の一環として、移転も視野にオフィスの刷新を計画しました。当社の工場や研究所といった主要拠点は、その多くが新幹線駅の近くにあります。事業場間の移動やお客様訪問時の利便性を考え、本社移転先は東京駅の間近で候補を探しました。東京駅に面するJ Pタワーは、これまでよりもさらに新幹線からのアクセスが良好なうえ、セキュリティゲートも整っています。床面積を減少させてもビル内にはカンファレンス・フロア（貸会議室）や休憩に利用できる就業者専用のラウンジがあることから本社移転先としました。

新たなオフィスでは、同心円状にBASE WORK、TEAM WORK、REFRESH WORKの3つのゾーンを設け、業務に合わせた就業を可能としました。またそれらを一望できるオープンなレイアウトとシンプルな動線を採用し、部署を超えた従業員のコミュニケーションを活性化させる機能的なオフィス環境を整備することによって役職員一人ひとりの力を結集させて創造力と生産性を高め、新たなイノベーションの創出につなげてまいります。

また、本社オフィスでのフリーアドレスにとどまらず、事業場間をまたいで働く『事業場間フリーアドレス』の実現を構想しています。交通機関やモバイル機器を駆使しリアルな機動力とバーチャルなデジタル空間を併用した業務環境整備を進め、できる限り社員の転勤を軽減する形で各拠点の組織の機能を連携させるとともに将来的には、こうした業務環境を拡大して各所に分散している管理部門などの全社的な統合を目指しています。さらには人工知能（AI）の活用なども絡めながら、今後加速する生産年齢人口の減少による人材難に対応すべく、省力化の方策について全部門で検討を進めているところです。

日本曹達グループは、「新たな価値を化学の力で創造し、『社会への貢献』を通じ『企業価値の向上』を実現する。」をミッションに掲げております。1920年にカ性ソーダやさらし粉の製造で創業して以来、これまで時代に応じた製品を次々に世に送り出してきました。これからもグローバルネットワークを生かし「化学企業グループ」としての総合力を武器に農業・医療・環境・情報など多角的な事業展開のもと社会に貢献してまいります。



JP タワー全体外観



NS_WORK SPACE



map